

脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりすることで発生し、大きく分けて脳梗塞と脳出血、そしてくも膜下出血があります。

脳梗塞は脳の血管が詰まり、血流が遮断されて脳細胞が壊死することが原因です。脳出血は、脳内の血管が破れて出血し、圧力が脳組織にかかることでダメージを引き起こします。くも膜下出血は脳の表面にある動脈が破れることで起こり、激しい頭痛が特徴です。

脳卒中の後、患者さんはさまざまな症状に直面します。最も一般的なのは片麻痺です。これは体の片側が麻痺し、手足が動かさなくなったり、嘔吐や下痢、意識障害、言語障害、視覚障害、聴覚障害、嗅覚障害、味覚障害、歩行障害、排尿障害、排便障害、嚥下障害、嚥下反射を促す練習が困難になります。また、高次脳機能障害として、記憶力や注意力が低下する、判断力が鈍るといった問題も発生することがあります。

脳卒中の片側が麻痺し、手足が動かさなくなったり、嘔吐や下痢、意識障害、言語障害、視覚障害、聴覚障害、嗅覚障害、味覚障害、歩行障害、排尿障害、排便障害、嚥下障害、嚥下反射を促す練習が困難になります。また、高次脳機能障害として、記憶力や注意力が低下する、判断力が鈍るといった問題も発生することがあります。

脳卒中のリハビリテーションは、足の筋力やバランスが弱まった患者さんにとって効果的です。器具は足首や膝をサポートし、歩行を安定させるために使われます。また、ロボットを活用したり、ハビタス（生活機能訓練）を行うことで、日常生活活動の再建が重要です。これには、ベッドからの起き上がりや、嚥下反射を促す練習が重要です。

脳卒中のリハビリテーションは、足の筋力やバランスが弱まった患者さんにとって効果的です。器具は足首や膝をサポートし、歩行を安定させるために使われます。また、ロボットを活用したり、ハビタス（生活機能訓練）を行うことで、日常生活活動の再建が重要です。これには、ベッドからの起き上がりや、嚥下反射を促す練習が重要です。

脳卒中のリハビリテーションは、足の筋力やバランスが弱まった患者さんにとって効果的です。器具は足首や膝をサポートし、歩行を安定させるために使われます。また、ロボットを活用したり、ハビタス（生活機能訓練）を行うことで、日常生活活動の再建が重要です。これには、ベッドからの起き上がりや、嚥下反射を促す練習が重要です。

### 知って得られる医療・介護

藤田医科大学七栗記念病院  
副院長 平野 哲



### ⑯ 脳卒中のリハビリテーション

脳卒中のリハビリテーションは、足の筋力やバランスが弱まった患者さんにとって効果的です。器具は足首や膝をサポートし、歩行を安定させるために使われます。また、ロボットを活用したり、ハビタス（生活機能訓練）を行うことで、日常生活活動の再建が重要です。これには、ベッドからの起き上がりや、嚥下反射を促す練習が重要です。

脳卒中のリハビリテーションは、足の筋力やバランスが弱まった患者さんにとって効果的です。器具は足首や膝をサポートし、歩行を安定させるために使われます。また、ロボットを活用したり、ハビタス（生活機能訓練）を行うことで、日常生活活動の再建が重要です。これには、ベッドからの起き上がりや、嚥下反射を促す練習が重要です。